

患者さんと病院を「つなぐ」情報誌

つなぐ

TSUNAGU

O t s u C i t y H o s p i t a l

2018年

vol.4

ご自由にお持ちください

2床増床・全面リニューアル

新 ICU稼働



関西初

トータルリフトベッド

立位のとれるベッド

導入で早期離床・早期リハビリ



Contents

特集1 -シリーズ「がん」- 知っていますか? 隣がんのこと ---- 1

特集2 ICUを全面リニューアルしました! ----- 2

ハイ!こちら耳鼻咽喉科です! ----- 3

ハイ!こちら女性肛門外来です! ----- 4

「病院探訪」~そこが知りたい~
臨床工学部 どんなことをしているのか ----- 5

Topics: チーム医療 ----- 6

「夏休みわくわく病院体験・探検」を開催しました ---- 7

News/FISH活動の取り組み ----- 8

栄養部 しっかり食べて風邪予防 ----- 9

かかりつけ医ご紹介コーナー:
西角三愛小児科/瀬古内科クリニック ----- 10



知っていますか？膵がんのこと



消化器内科
医長 中島 潤

近年、二人に一人が癌を患う時代といわれますが、癌を治療することのみならず癌にならないよう予防することが大切です。私たち消化器内科でいえばこれまで胃癌、大腸癌、肝臓癌の患者さんが多く、これらの癌をいかに克服していくかが課題でした。

胃癌や肝臓癌の多くは、ヘリコバクター・ピロリ菌（以下ピロリ菌）の感染による慢性胃炎や、B型・C型肝炎ウイルス感染による慢性肝炎が原因であることがわかってきました。そこでピロリ菌や肝炎ウイルスを治療することにより、胃癌や肝臓癌の発症を低下させることが判明し、最近では胃癌や肝臓癌は減少傾向にあるといわれています。

一方で、増えている癌もあります。その代表が膵癌です。

著名人が膵癌を患われたという報道が相次ぎ、皆さんもよくご存知のことと思います。

膵癌は我が国では男性で5番目、女性で3番目に多い癌であり、予後の悪い癌の一つです。本年2月28日、国立がん研究センターの発表した癌の部位別10年生存率では、膵癌は5%と他の癌と比べて最も低い生存率でした。膵癌の予後不良な原因は「膵癌は小さい段階で発見することが困難」であることに尽きます。膵癌を手術するためにはできるだけ小さな段階で診断することが重要ですが、小さな癌そのものを見つけるのは難しいた

め、膵癌が発生した場合に起こる膵臓の変化を捉えることが重要です。膵癌は膵管にできる癌であり、膵管の狭窄と上流の拡張という変化がまず起こります。この変化を見つけるために当院が取り組んでいる「膵がん検診」では、膵管を中心に描出するMRI検査を行います。MRI検査は磁場を利用して検査を行うため放射線被曝がなく体型に影響されることなく、またいつでも画像を見直し複数の医師で検討することができるというメリットがあります。MRI検査により膵管の変化をとらえることが、膵癌の早期発見につながります。

MRCPによる膵のう胞画像



膵癌の危険因子として、膵癌の家族歴や慢性膵炎、糖尿病などが報告されており、このような患者さんには特に「膵がん検診」をお勧めいたします。また膵臓に膵のう胞を指摘されることがあります。膵のう胞は膵臓の内部にできた液体の貯留した袋のことですが、この膵のう胞も膵癌の危険因子であることがわかっています。「膵がん検診」で膵のう胞を指摘された場合は、上記のMRI検査やCT検査のみならず超音波内視鏡検査による定期的な経過観察を行うことが重要です。

私たち消化器内科医は健診センターと連携の上、膵癌をできるだけ早期に発見し治療に結びつけることができるよう、日々診療に当たっています。また持続する腹痛や背部痛を認める場合や腹部超音波検査で膵臓に異常を指摘された場合には、当科にご相談下さい。

（文責：消化器内科医長 中島 潤）

内視鏡検査の様子





ICUを全面リニューアルしました!



当院におけるICU業務は1980年代初頭に京滋地域で最初に京大・京都府立医大に先駆けて厚生省認可を得て、スタートしました。集中治療学会施設認定番号も全国で14番に取得した施設です。周辺施設のICU創設の核となる集中治療医の輩出や研修受け入れなど人材育成の役割も担ってきました。

1998年ごろの救急診療を取り巻く環境は、交通事故や労務災害などの外傷患者が減少する一方で、心筋梗塞、脳梗塞などの生活習慣病に対する緊急再灌流治療が求められ始めていました。これに対応する業務体制として、ER型救急を京滋地域では最初に取り入れしました。

21世紀に入り医師の臨床研修制度が整う中で、多くの若手医師が、当院をClosed ICUとER型救急

研修の場として評価し、各地から専門研修参加者が続いています。彼ら若手医師の活力はそのまま市立大津市民病院の業務向上につながり、研修修了後も情報交換を続ける中で業務上有用なネットワークを構築することができています。

そんな中、11月1日からベッド数を6床から8床にリニューアルする運びとなりました。当院の「救急車を断らない」宣言に対応して、生命の危機に瀕している重症患者を救うため、24時間濃密な診療体制・看護体制のさらなる充実をはかっています。これからも、ICU、ERをはじめ、一般病棟とも連携して、救急搬送される患者さまや手術を受けられる患者さまを受け入れて、地域住民の健康増進や救急医療の質の向上に貢献できるので

はないかと考えております。また、ICU医師・看護師や理学療法士、薬剤師、地域医療連携職員などとの協働を強化し、未来へ向けて変化する努力を惜しまず、地域の皆様の期待に応えてまいりたいと思います。

(文責:集中治療部看護師長 須佐美 智子)

関西初導入

「トータルリフトベッド」
(立位のとれるベッド)



ボタンひとつで、簡単に安全に早期離床を促進します



6床から8床へ2床増床・拡充した新ICU

ICUリニューアル工事の一部に、皆様からいただいたご寄附を活用させていただきました。貴重なご寄附をお寄せいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

ハイ!こちら 耳鼻咽喉科です!

耳鼻咽喉科のご紹介



的確な診断と丁寧な説明を心がけて、地域の皆さまに貢献してまいります。



耳鼻咽喉科のご案内

「耳鼻咽喉科」と聞くと、子供の中耳炎や花粉症のイメージを持たれる方も多いかと思いますが、「頭頸部外科」という肩書が付くこともある歴とした外科で、「首から上の脳と目と歯と頸椎以外」を対象としています。受診のきっかけとして「聞こえが悪い」「耳が痛い」「鼻水・くしゃみ・鼻づまり」以外にも、「天井が回る」「顔の半分が急に動かなくなった」「声がかれる」「食事が飲み込みにくい」「くびが腫れてきた」など、多彩な症状があります。

当院耳鼻咽喉科で取り扱う 主な疾患について

中耳・内耳疾患

急性中耳炎の他に、鼓膜の奥に水が溜まってしまいう滲出性中耳炎や鼓膜に穴があいたままになる慢性中耳炎などがあります。急に聞こえが悪くなる突発性難聴や顔が曲がってしまう顔面神経麻痺は、できるだけ早くから治療が必要です。メニエール病など、内耳からくるめまいにも対応致します。

鼻・副鼻腔疾患

花粉症を始めとするアレルギー性鼻炎や、いわゆる「蓄膿」とよばれる慢性副鼻腔炎などがあります。薬物療法で改善しないものについては、内視鏡を用いた手術療法も行っています。副鼻腔炎と

思っている、手術が望ましい真菌症(カビ)や腫瘍のこともあり、注意が必要です。

口腔・咽頭・喉頭疾患

急性扁桃炎などの炎症性疾患では食事が摂れないほど状態が悪いと入院で治療を行います。窒息の危険があるほど腫れているものは気道確保を要する場合がありますので要注意です。扁桃炎を繰り返す方や、扁桃肥大で睡眠時無呼吸のあるお子様などは手術の適応になります。声の酷使や無理な発声を続けると声帯ポリープなどの音声障害を来し、手術を行うこともあります。喫煙歴の長い人では喉頭ガンや咽頭ガンの危険性もあります。また、脳神経疾患や高齢による嚥下障害について内視鏡などで評価を行い、適切な姿勢や食形態について言語聴覚士とともに指導を行っています。

頸部疾患

頸部には甲状腺、耳下腺や顎下腺などの唾液腺、その他無数のリ

ンパ節がありますが、それぞれ腫れることがあります。なかにはガンのこともありますので、超音波検査、必要時は細胞診検査を行い、適応症例には手術を行います。重症疾患で長期にわたっての気道管理が必要な方の気管切開術も耳鼻咽喉科の範囲です。

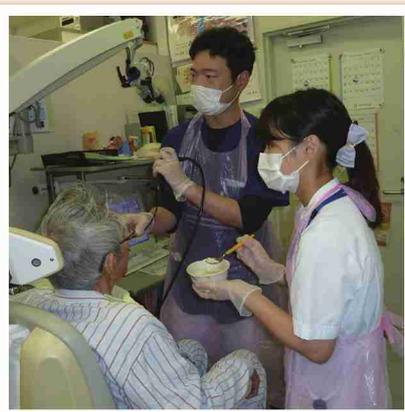
診療体制について

当院耳鼻咽喉科は、2018年7月に赴任した日本耳鼻咽喉科学会と日本気管食道科学会の専門医を持つ常勤医1名と、外来担当の非常勤医師複数名で診療を行っております。一般外来診察は午前のみ、午後は超音波検査や細胞診検査、入院患者さんの嚥下回診などを行っています。手術は水曜・金曜に行っています。できる限りの時間外救急疾患にも対応致します。近隣の医療施設との連携については、特に大切にしていきたいと考えております。

文責:耳鼻咽喉科診療部長 永尾 光



頸部手術



内視鏡下嚥下機能検査

ハイ!こちら 女性肛門外来です!

女性肛門外来のご紹介



女性医師が対応する、女性のためのお尻の外来です

岡部あさみ医師

女性医師による「女性肛門外来」を開始しました!

女性の皆さん、お尻のトラブルや悩みを放置していませんか?

肛門の痛み、かゆみ、出血、不快感などがあっても、なかなか勇気を持って病院を受診できない方々が多数おられます。

痔は一般的な疾患ですが、特に女性の場合は、恥ずかしさや受診に対する抵抗感から、痛みや排便時の出血があっても病院へ行かずに放置して、症状を悪化させてしまう方も少なくありません。また、妊娠や出産をきっかけに痔が悪化してしまうケースもあります。

痔の治療法には様々な選択肢があります。当院では、切らずに注射で痔を治す『ジオン(ALTA)注*』も行っています。従来の手術法に比べ痛みがほとんどない、長期入院を必要としないなどの多くのメリットがあります。

高齢女性に多いのが、加齢などによる骨盤底筋の低下で直腸が肛門から出てきてしまう「直腸脱」という病気です。子宮脱など、他の疾患を併発することもあるので、早期の診断と治療が重要になります。

当院では、女性の皆さんが気軽に受診できるよう、女性医師による肛門外来を行っています。「お尻が痛む」あるいは「お尻がかゆい」、「お尻に違和感がある」など、お尻に関する症状がある場合は、ぜひ早めにご相談ください。安心して受診いただけるよう、プライバシーにも十分配慮しています。

詳しくは、当院外来ブロックB受付(外科外来)でおたずねください。

女性肛門外来

毎週水曜日 午前・午後
担当:岡部あさみ医師

※「ジオン(ALTA)注」ってどんな治療法?

「ジオン(ALTA)注」は、排便時に出る、あるいは普段から出たままになっているようないぼ痔(脱出する内痔核)を、注射によって治療する方法です。

「ジオン(ALTA)注」のメリット

- ・痔核の痛みがない部分に注射するので、傷口の痛みや出血がほとんどありません。
- ・入院期間が短縮できます(一定間隔での通院は必要です)。
- ・日常生活への早期復帰が図れます(排便・入浴は翌日から、仕事は翌々日から可能です)。
- ・手術に比べて治療費がかかりません。

「ジオン(ALTA)注」の投与方法

薬を十分浸透させるため、一つの痔核に対し4カ所に分割して投与します。これを四段階注射法といいます。複数の痔核がある場合、それぞれに注射を行います。

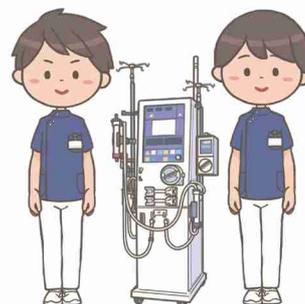
- 全ての脱出する内痔核を治せるものではありません。治療法については、診察の結果で判断します。
- 「ジオン(ALTA)注」投与の前には肛門周囲あるいは下半身だけに効く麻酔を行います。麻酔法については医師に確認してください。



～そこが知りたい～

臨床工学部

どんなことをしているのか



臨床工学技士とは

皆さん、市立大津市民病院には、薬剤師や臨床検査技師、診療放射線技師などのメディカルスタッフの一員として、「臨床工学技士」が働いていることをご存知でしょうか？

臨床工学技士は、1987年に新しくできた国家資格で、生命維持管理装置をはじめとする医療機器の操作や保守を行うことを業としています。歴史は浅いですが、医療機器の安全をつかさどる臨床工学技士は、高度化している医療の分野においてなくてはならない存在となっています。以下に主な業務をご紹介します。

業務紹介

循環器業務

心臓カテーテル検査や電気生理学的検査およびカテーテルアブレーションで用いられる医療機器の操作、心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器の外来フォローアップ、心臓手術の際に用いられる人工心肺装置の操作などを行っています。



フォローアップ、心不全患者さんに対するASV療法、呼吸器・神経疾患に対するNPPV療法などにも積極的に関わっています。また、院内で長期にわたり人工呼吸器を装着されている患者さんの退院支援（在宅人工呼吸療法へのサポート等）も行い、急性期から慢性期まで幅広い分野に携わっています。



ともに行っています。その他、潰瘍性大腸炎・クローン病に対する血球除去療法や、様々な疾患に対する血漿交換や血漿吸着などのアフレスス療法、末梢血幹細胞採取、腹水・胸水濾過濃縮再静注法などの治療に携わっています。

手術室業務

手術で用いられる医療機器を安全かつ有効に使用するため、不具合がないか定期的に点検を行い、実際に手術に立ち合い機器の操作をしています。また、現在2名の臨床工学技士が、器械出し業務に従事し、臨床工学技士ならではの視点で鋼製小物や腹腔鏡下デバイスなどの安全管理を行っています。



血液浄化業務

シャント管理を含む臨床業務、透析機器の保守管理、透析液の水質管理などを担当しています。救急集中治療領域においては、循環動態の不安定な重症患者の血液透析やうっ血性心不全による体液過剰、多臓器不全などに対する持続的腎代替療法の施行・管理を医師・看護師と



人工呼吸器業務

人工呼吸器の保守管理とICU、NICU、一般病棟でのラウンド・呼吸アセスメントなどを行っています。他には、睡眠時無呼吸症候群患者さんに対するCPAP療法の導入や外来

臨床工学部では、臨床工学技士15名で当直体制をとり、24時間・365日、医療機器のスペシャリストとして、患者様に安全で最適な医療を提供できるよう、日々進歩する医療機器に精通するため、研鑽をおこたらず、これからも地域医療に貢献していきます。

心臓リハビリテーションチーム



・心臓リハビリテーションとは

これまで心臓の病気は安静が必要と考えられていました。現在では適切な運動療法や患者さんへの教育・生活指導・カウンセリングなどが、心筋梗塞や心不全、心臓手術後等の病気の再発予防、早期社会復帰、生活の質の維持向上などに有効であることが認められています。

運動療法や生活調整などを通して、運動不足や喫煙、高血圧、糖尿病、動脈硬化症などの心臓病を悪化させる生活習慣の改善に取り組む包括的なプログラムです。

・チームの活動

当院では医師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、薬剤師、臨床心理士、医療福祉士(MSW)など多職種で心臓リハビリチームを結成し、入院だけでなく外来通院される心臓病の患者さんにも相談・教育・生活指導・カウンセリング

などを含めた心臓リハビリテーションを行っています。

・心臓リハビリテーションの効果

1. 運動能力が向上し動いても疲れにくくなり、心臓の負担を減らします。
2. 自律神経のバランスが改善し、不整脈が起こりにくく、血圧も安定します。
3. 血圧や血糖値、コレステロール値が改善するため、心臓病の原因になりやすい動脈硬化の進行を遅らせ病気の再発を防ぎやすくなります。
4. 運動により精神的ストレスが軽減します。
5. 生活の質が改善し、日常生活の満足度が高まります。



6. 病気の再発や悪化による再入院が減り、寿命を延ばす効果があります。

・心臓リハビリテーションチームの目指すもの

心臓リハビリテーションにより、心臓病があっても生活の質が大きく改善すると報告されています。患者さん1人1人の心機能に合った運動を行うことで、低下した体力を向上させて自覚症状を軽くできます。退院後も運動を継続して生活習慣の見直しを図ることで病気の再発予防につながります。

以前にもまして健康で快適な日々を過ごしていただくことが私たちの願いです。

褥瘡対策チーム

<活動内容>

褥瘡対策チームは、皮膚科医、皮膚・排泄ケア認定看護師、理学療法士、リクナーズからなるメンバーで、入院中に褥瘡が発生した患者さんあるいは、褥瘡があり入院された患者さんを対象に、週1回褥瘡回診を行っています。

褥瘡回診では、メンバー間でカンファレンスを行い、褥瘡を評価し治療やケア方法について方針を決めます。

また褥瘡の治療のみではなく、褥瘡発生の予防にも力を入れて活動しており、褥瘡予防・治療に関する研修会を毎年実施しています。

<褥瘡について>

褥瘡とは、一般的に「床ずれ」といわれています。

褥瘡は、体重で長時間同じ部位が圧迫されることで血流が悪くなり、皮膚が変色したり傷ができてしまったりする状態です。特に、骨が突き出ている部位(踵・仙骨部など)は強く圧迫されやすいため、褥



瘡ができやすくなります。自分で寝返りができない方や、栄養状態が悪い方、皮膚が弱くなっている方は褥瘡ができやすいので注意が必要です。

褥瘡予防には、長時間同じ部位を圧迫しないように、定期的に寝返り(体位変換)を行います。体位変換用に作られたクッションを用いると姿勢を保てます。また、体圧分散寝具(エアマット)を使用することで、褥瘡を予防することもできます。クッションや体圧分散寝具は、介護保険などを用いてレンタルや購入することができます。さらに予防で大切なのは、皮膚を清潔にし保湿を心がけることです。褥瘡になりやすい皮膚の状態として、尿や便失禁による湿潤(皮膚のふやけ)があります。排泄物が皮膚に付着した状態が続くと、皮膚のふやけから褥

瘡の発生リスクが高くなります。石鹸をしっかりと泡立てで擦らないで優しく皮膚を洗った後に、皮膚を保護するための保湿剤を塗布することが勧められています。また、日頃から皮膚が乾燥しないよう保湿剤を使用すると効果的です。

褥瘡の治療には、外用薬や創傷被覆材を用いた保存的治療や、手術による外科的治療などがあります。ガイドラインに沿って、患者さんにとって最も適切な方法で治療を進めています。

<在宅療養中の患者さんへ>

当院では、専門看護師・認定看護師等による同行訪問・退院後訪問を行っています。褥瘡のある患者さんを対象に、褥瘡の治療やケア方法について支援をしていきますので、ぜひ一度ご相談下さい。

『夏休みわくわく 病院体験・探検』を開催しました



平成30年8月4日(土)、地域に開かれた病院としての取り組みの一環として、小学生のお子様を対象に、病院での体験や病院の裏側を見る(探検する)ことで、医療への興味・関心を持ってもらい、医療現場での仕事への理解を深めてもらうことを目的として、『夏休みわくわく病院体験・探検』を開催しました。このイベントは職員のボランティアによる運営で、内視鏡手術支援ロボット『da Vinci』を使った「ロボット手術体験」や、「内視鏡体験」、「CT・MRI探検」、「臨床検査技師体験」、「白衣体験と救急車見学」の5つの内容で構成され、50組100名の募集に対して、実に当選倍率4.7倍にあたる235組の応募がありました。



片岡理事長・院長挨拶



ロボット手術体験



内視鏡体験



白衣体験



臨床検査技師体験
(エコー検査体験)



CT・MRI探検



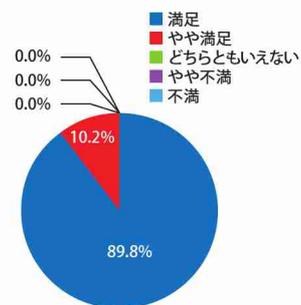
救急車探検



参加いただいた保護者の方にアンケートを実施したところ、「満足」:89.8% 「やや満足」:10.2%(「満足」と「やや満足」の合算:100.0%)と大変好評で、「貴重な体験ができた」、「病院のイメージが変わった」、「来年も実施してほしい」など、嬉しい感想が多く寄せられました。

今回の経験を活かし、さらに内容を充実させて、「地域に開かれた病院」としてイベントを毎年継続したいと考えております。

全体の満足度はいかがでしたか？



昨年12月より1.5T-MRI装置が生まれ変わりました！！

当院放射線部門では医師4名、非常勤医師4名、診療放射線技師19名、非常勤技師3名、事務員5名で X線撮影・CT検査・MRI検査・血管造影検査・RI検査・骨塩定量検査・放射線治療・読影等を日々行っています。

平成29年11月に「骨塩定量測定装置」、昨年2～3月は「16列と64列CT装置」が「80列と320列CT装置」に更新し、より信頼性の高い正確な医療情報を提供する体制を整備してまいりました。

さらに先月から稼働を開始した、最新の「フルデジタル1.5テスラMRI装置

Ingenia (フィリップス社製) はガントリ開口径が70cmに拡張され、体格の大きな患者さまや、閉所恐怖症の方にも対応できるようになりました。また、コイルからの信号をアナログからデジタル化することにより、ノイズの混入や信号の劣化を抑制し、コントラストも改善することで更に高画質な画像が得られるようになりました。最新のアプリケーションも多数搭載し、より高度な臨床ニーズに対応できるようになりました。

(文責:放射線部技師長 安達 幸秀)

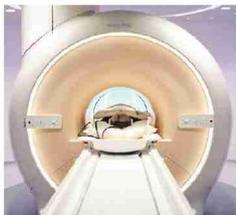


放射線部技師長
安達 幸秀

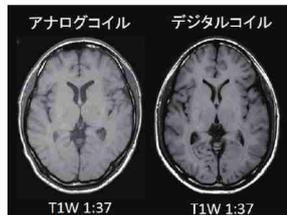


1.5T-MRI装置 Ingenia

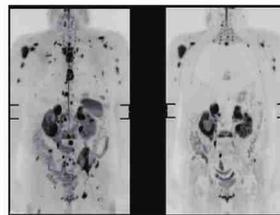
MRI装置更新工事の一部に、皆様からいただいたご寄附を活用させていただきました。貴重なご寄附をお寄せいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。



ガントリ開口径を
70cmに拡張



アナログコイル デジタルコイル
コイル信号のデジタル化で
高画質を実現



高精細な画像による
がんの転移検索と経過観察



金属アーチファクト
(金属による画像の乱れ)を抑制

フィッシュ

FISH活動の取り組み



院外ボランティアさんによるロビーコンサートを開催しています。

グループ・アッシュによる「アフタヌーンジャズコンサート」や、DM-4Sによる「サマージャズコンサート」、シンガーソングライターのYUDAIさんによる「心に響くロビーコンサート～向日葵のように～」が、開催されました。今後も、すてきなコンサートを企画しますので、どうぞお楽しみください。また、外来や病棟では、季節を感じていただけるように壁面を飾っています。

(文責:チームFISH副委員長 嶋林 幸子)



5月23日
アフタヌーンジャズコンサート
(グループ・アッシュの皆さん)



7月24日
サマージャズロビーコンサート
(DM4-Sの皆さん)



8月8日
心に響くコンサート～向日葵のように～
(YUDAIさん)



壁面飾り



しっかり食べて風邪予防



1日に必要なエネルギーや栄養素を上手にとるために、朝・昼・夕の食事毎に、**主食**と**主菜**と**副菜**を組み合わせることが勧められています。

主食：ごはん、パン、めんなど

主菜：魚、肉、卵、大豆製品などが主材料の料理

副菜：野菜、芋、豆、海そう、きのこなどが主材料の料理

主菜

体の組織を作るもの

主食

エネルギーになるもの

副菜

体の調子を整えるもの

風邪を予防する栄養素！

風邪をひいてから薬を飲むより、毎日の食事に注意して、抵抗力をつけて予防しましょう。風邪の予防には、手洗いや、うがいはもちろんバランスのとれた食事をとることも大切です。

風邪予防にはビタミンACE(エース)！

ビタミンA・ビタミンC・ビタミンEは特におすすめです

ビタミンA

鼻やのどの粘膜を正常に保ち、抵抗力を高めます
かぼちゃ・にんじん・ほうれん草・春菊など



ビタミンC

免疫力を高めます。また、疲労回復を早め、栄養素の吸収を高めます
みかん・いちご・さつまいも・じゃが芋など



ビタミンE

全身の血行を良くして抵抗力を高めます
ナッツ類・大豆製品・小麦胚芽など



たんぱく質

体温を維持して体力を高めます
肉・魚・卵・乳製品・大豆製品など



ビタミンA・C・Eやたんぱく質は、それぞれ単独でとるよりも、一緒にとることで効果が高まります。しっかり食べて、風邪をひきにくい体をつくりましょう。

なべやしチューは風邪予防に最適な献立です！



いつもの料理にひと工夫

寒い日に食べたくなるのが「お鍋」！この季節に大人気の栄養満点のメニューですが、お鍋に「しょうが」や「唐辛子」を少し加えると、体が温まり、さらに、風邪予防効果が期待できます。汁物にも応用できますのでお試しください。

かかりつけ医 ご紹介コーナー

にしかどさんあいしょうにか

西角三愛小児科

滋賀県大津市石山寺3丁目22番地7号 TEL.077-534-8889
診療科:小児科 休診日:木曜・日曜・祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	—	○	○
14:00~16:00	○	○	○	—	○	—
17:30~19:30	○	○	○	—	○	—



院長
西角 淳先生



読者の皆様へ

小児特有の感染症に配慮した医院の設計となっています。一般の病気の方と、予防接種など健康な方は、入り口から受付、待合室、診察室まで空調も含めて別になっており、水痘、おたふくかぜなどの特別な感染症は、個室で対応しています。インフルエンザ、溶連菌などの検査はもちろん、血液、尿、胸部レントゲンなどの日常的な検査はその場で結果がわかるので、より適切な診断に役立つとともに、時間外救急への不要な受診をへらすことができます。

せこないか

瀬古内科クリニック

大津市馬場3丁目2-25 TEL.077-510-5755
診療科:内科・消化器内科 休診日:日曜日・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—	—
16:30~19:30	○	○	○	—	○	—	—	—



院長
瀬古 修二先生



読者の皆様へ

35年以上の診療経験を積んだ内科、消化器科の専門医で、胃カメラや腹部エコーなどを使って胃腸や肝臓の病気を診ることを得意としています(消化器病学会専門医、肝臓学会専門医、消化器内視鏡学会専門医)。

また、高血圧、糖尿病、喘息など幅広い病気にも対応できる内科学会認定総合内科専門医でもあり、家庭の「かかりつけ医」として在宅医療にも参加しています。

地方独立行政法人市立大津市民病院

ご寄附のお願い

みなさまのご寄附を
医療機器の整備、
療養環境の改善に活かします！



地方独立行政法人市立大津市民病院では、個人さまや法人・団体さまなどからのご寄附を受け付け、病院の運営に活用させていただきます。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

寄附募集概要

- 寄附金の使途…… 医療機器の整備、施設や療養環境の改善
- 申込方法…… 当法人ホームページ「ご寄附のお願い」バナーより「寄附申込書」をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上法人事務局経営管理課にお申し込み下さい。また、当院寄附専用の払込取扱表（振込用紙）をご利用いただき、お近くのゆうちょ銀行・郵便局にてお振込いただくこともできます。※詳しくは、当法人ホームページ「ご寄附のお願い」バナーをご覧ください。
- 優遇措置…… 当法人は、「特定公益増進法人」に該当します。当法人への寄附金は、税制上の優遇措置が受けられます。

お問い合わせ先

地方独立行政法人市立大津市民病院 法人事務局 経営管理課
TEL: (077) 522-4607 (代) メール: och1010@och.or.jp

ご自宅で療養中の患者さん・ご家族を専門スタッフチームが支えます！



市立大津市民病院では、医療ニーズの高い在宅療養中の患者さんが安心・安全にご自宅で生活ができるよう、専門看護師・認定看護師等が訪問看護師と一緒にご自宅を訪問し、治療やケアについて相談・支援します。

大津市民病院訪問看護ステーションをご利用の方で、下記に該当される方はご相談ください。

- ・市立大津市民病院の緩和ケア病棟を退院して、自宅で療養されている方
- ・入院中に褥瘡^{じよくそう}ケアまたは人工肛門ケア・人工膀胱ケアを受けていた方
- ・がんの痛みに対して鎮痛剤を使用している方

お問い合わせ先：地域医療連携室 (TEL: 077-526-8192 / FAX: 077-522-0192)

受付時間：平日 8時30分～17時15分



ネット予約をはじめました！

人間ドック (日帰り・一泊)

人間ドック (日帰り・一泊) が病院ホームページからもお申し込みいただけます。オプション検査も同時に申し込みいただけますので、ぜひご利用ください。

※ご利用にあたっては、ホームページに記載している「利用に際しての注意事項」をよくお読みの上、お申し込みください。



地方独立行政法人

市立大津市民病院

〒520-0804 大津市本宮二丁目9番9号

TEL: 077-522-4607 FAX: 077-521-5414

<https://och.or.jp/>